

無人運転に始まる デジタル体験の大きな未来

丁彦允 (Martin Ting)

喜門史塔雷克 (7STARLAKE) 株式会社 総経理

【要旨】

講演概要:

1. レベル4の自動運転バスのIT & AI技術解析
2. 自動運転バスの「ファーストマイル」と「ラストマイル」シャトルバスサービスおよび全世界の運営実績
3. スマートモビリティ モビリティシェアリング 完全な公共交通ネットワークを形成
4. 自動運転車にAIスマートテクノロジーを統合したデジタル体験
5. スマートモビリティをビッグデータ収集とDSRCサービスの応用に結びつける
6. グリーンエネルギーによるスマート交通 完備した街のモビリティシェアリングシステム

重要な結論:

1. 7StarlakeとEasyMileが共同生産したSAE Level 4 EZ10自動運転小型バスは既に世界26カ国176ヶ所で運行している。また、8都市ではナンバープレートも取得済みで運営され、スマートシティにおけるFirst & Last Mileのモビリティサービスは着実に定着している。
2. EZ10はV2VとIoT技術を連結してインフラ(V2I)のグレードアップを促進し、AIoTのスマート・コネクティッド・エコシステムを発展させる。
3. スマートモビリティ自動運転車 - EZ10はAIデジタル体験を統合して、スマート商圈、スマート新小売等に応用し、エンドユーザーのニーズに合わせてサービス対策をカスタマイズすることにより、スマートシティのシェアリングエコミーの経済効果を最大化し、産業全体のグレードアップを促進する。